



新年を迎えて

藤崎町老人クラブ連合会
会長 館山 新一



明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。新年の会員の皆様へのご挨拶

は、昨年11月20日21日の2日間、神奈川県横浜市にて全国老人クラブ大会が開催されましたが、その大会宣言の中で、これから我々老人クラブ活動の指針となる重要事項がありましたので、抜粋しご報告申し上げます。

我が国は、少子高齢化・人口減少が急速に進み団塊の世代が75歳を迎える二〇二五年になり、本格的な超高齢社会を迎えています。振り返ると、私達は戦後一貫して地域での支え合いを主体的に行い、多彩な活動を展開して、ときに喜びを分かち合い、ときに災害などの困難を共に乗り越えてきました。それゆえ、これまで取り組んできた仲間づくりや支え合いの活動実践に誇りを持ってきました。しかし、近年、急速に会員が減少し、また、単位クラブの消滅があり、誠に残念でなりません。このままだと老人クラブそのものの消滅に繋がり、老人クラブを維持し、地域のコミュニティを守り「みんなが喜んで色々な活動に参画出来る老人クラブにするには」と私は役員一同と共に自問自答し活動をしています。ここで第53回全国老人クラブ大会で採択されました宣言をご紹介します。

一、健康長寿を目指す「健康活動」の推進
一、暮らしを見守る「支え合いの活動」の推進
一、高齢期を豊かにする「いきがい活動」の充実
一、あらゆる世代と連携した「地域貢献活動」の推進
一、すべての人々の尊厳が守られる「社会保障制度」の確立
以上の大会宣言を目標にわが老人クラブはこれからも仲間を思いやり、仲間を増やし、明るく楽しい

発行者
藤崎町老人クラブ連合会
藤崎老人福祉センター内
電話 0172-75-3232
Fax 0172-75-2128

老人クラブにしていきましよう。会員の皆様方のますますのご健勝とご多幸と新しい年がおだやかで素晴らしい一年でありますよう、祈念申し上げ新年の挨拶と致します。

藤崎ユニカールクラブ(東町シニアクラブ) 東日本大会 準優勝

藤崎ユニカールクラブ(会長 木村悦穂、選手加福哲三・加福孝二・清野正廣の三名)が「第25回東日本大会(福島市NCVふくしまアリーナ)」に出場した。

予選(リーグ戦)は順当に勝ち進み第1位で通過した。決勝トーナメント戦では昨年の全国大会で敗退した時のチームに準決勝で勝利し、決勝戦に臨んだ。決勝戦は秋田県の強豪チーム比内Bチームと対戦し手に汗握る接戦で善戦したが、3対4で惜しくも敗れ準優勝となった。



左から平田町長、加福哲、木村会長、清野、加福孝

楽しかった昔の遊び支援 第12回ふじさき秋まつり

11月16日(土)・17日(日)ふじさき秋まつりが開催され、町老連は「スポーツプラザ藤崎」で「昔の遊びコーナー」を担当した。

◆秋まつりオープニング
常盤小学校スクールバンドの演奏とお祭り神輿で始まった。元気な姿で見事な演奏に感動。

●老人クラブ会員の活動
町老連が「昔の遊びコーナー」に本部役員・若手委員・女性部委員が二日間とも10数人で(延べ30人)が

「めぐり・めんこ・けん玉・おはじき・あやとり」を子ども達に手ほどきし、昔の遊びを楽しみながら覚えよう!!」をスローガンに活動した。



オープニング、神輿行列入場

◎遊びの体験

一人ひとり・思い思いに好きなものを取り遊んでいる。教えて欲しいとお願する子や一人で上手に遊んでいる子など。(教えてもらって初めて出来た子は、出来た!!出来た!!と感動、満足げな笑顔であった)4歳の女の子はしっかり正座をして、お母さんがめぐりを置くようにと教えたならば本当に置いたので笑っていた。

◎遊びを通して

昔の遊びコーナーでは、参加者らとスタンプ、親子間・友達同士など世代間の交流を楽しんでいた。また、沢山の出会いがあり、スタッフから「来年も来てね」と声をかけている姿もあった。



昔の遊びコーナー

◆老連理事会のお知らせ◆

令和6年度 第2回理事会を開催します。

- 一、日時 1月24日(金)10時~12時
- 二、場所 藤崎町文化センター3階 多目的ホール
- 三、日程

- (1)受付 9時30分~10時
- (2)開会 10時~10時10分
- (3)県知事・県老連会長表彰状の伝達 10時10分~10時30分

▼県知事表彰

老人クラブ育成成功労者

矢沢長寿会長 清野草名義氏

▼県老連会長表彰

優良老人クラブ

1 月 行 事 予 定 表			
日	曜	行 事	時刻
1	水	元旦	
2	木		
3	金		
4	土	レクダンス部	9:30
5	日		
6	月		
7	火		
8	水	老連役員会	10:00
		茶道部	13:00
9	木	囲碁・将棋部	12:30
10	金		
11	土	レクダンス部	9:30
		日本舞踊部	13:00
12	日		
13	月	成人の日	
14	火	囲碁・将棋部	12:30
15	水		
16	木	囲碁・将棋部	12:30
17	金		
18	土	レクダンス部	9:30
		日本舞踊部	13:00
19	日		
20	月	芸能部	12:00
		広報委員会	13:30
21	火	囲碁・将棋部	12:30
22	水	茶道部	13:00
23	木	囲碁・将棋部	12:30
24	金	第2回老連理事会	10:00
		レクダンス部	9:30
		日本舞踊部	13:00
25	土		
26	日		
27	月	生け花部	10:30
		芸能部	12:00
28	火	囲碁・将棋部	12:30
29	水		
30	木	囲碁・将棋部	12:30
		【白寿】配布日	16時~
31	金		

亀田悠遊会 (会長 赤石久男氏)

個人功勞
佐々木トミエ氏 (伝馬喜楽会長)
神 佳子氏 (常盤養命会第二会長)
佐藤 ツエ氏 (中西野目長寿会長)
神 信子氏 (女性部役員)

(4)講話 10時45分~11時45分
演題「交通安全・特殊サギ防止について」
講師 弘前警察署 署員

四、閉会 11時45分

※その他、理事とは
単位老人クラブ会長、専門部長、女性部長、広報委員長、若手委員長
本部役員(会長、副会長、監事、会計、事務局長)
※欠席の場合は、必ず代理の役員の出席をお願いします。

冬季トランプ大会のお知らせ

一、日時 2月15日(土) 午前9時開会 (受付8時30分)

二、場所 藤崎老人福祉センター集会所
三、対象者 町内老人クラブ会員で男女は問わず
四、種 目 個人戦のみ(午前3試合)
★3回戦の取得点数の合計点で決定。

五、会 費 壹千円 (賞品・弁当代 当日集金)
六、申込締切 1月30日(休)迄 両福祉センターへ
七、その他 (電話での申込は受付しません)

①大会は町老連大会ルールで行い、その他必要な事項については、当日説明します。

②表彰は1位~10位迄と、飛び賞・当日賞・ブービー賞・ラスト賞です。

また、参加者全員に参加賞を差し上げます。
③昼食は、事務局で用意し、持ち帰りとなります。
④大会会場で「賭け・飲酒・喫煙」は禁止です。

老いを愉しく

第十回

元ときわ会病院長 永山隆造

明けましておめでとうございます。皆様はどのように年末年始を過ごされたのでしょうか。

多くの家では大晦日の夕方には子供達はゲームに興じ、大人達は酒を飲み始める。やがて家中で「紅白歌合戦」を見て、終わると若者や子供達は初詣に出掛け、お年寄りはテレビの「ゆく年くる年」が終っても、皆が帰るまで留守番をすることになる。

元日には子供たちはお年玉の新しいゲームで遊び、二日になると大人達は親戚や友人達と行ったり来たり酒盛りが始まり、夜になると爺様は酒疲れで早く寝てしまったりしますが、奥さんやお婆さんは大忙しです。どこの家でもこれと似たり寄ったりの年末年始だろうと思いますがどうでしょうか。

今から五十年くらい前まではゲームなど無かったので、福笑い・すごろく・花札・かるた・百人一首・トランプ、お手玉、あや取り、などで子供からお年寄りまで家中一緒に愉しく遊んだものでした。

子や孫にこんな話をすると「爺さま、時代が変わったの」と笑われ、年寄りは遊ぶ楽しさも無く、取り残された疎外感や年寄りの悲哀を感じたりします。

藤崎町の全人口の三割を占める我々六十五才以上のお年寄りが、淋しさや疎外感を感じているとしたら嘆かわしいことです。また施設にも入らずに、お正月を独りで過ごしたお年寄りは、どのくらい居るのだろうかなどと考えると、気の毒でいたたまれない気がします。

今年九十才になる私は、その年齢にならなければ子や孫にでも決して理解してもらえない心や体の悩み事が、年を取るとるほど多くなる事を知りました。この若い者達には決して理解出来ない悩みは、私達年寄りが自分達で解決するしか無いのです。

老人クラブの中で同年代の男女が集まってお酒を飲みながら愉しく語り合うことが出来ればきつと悩みが晴れるだろうと思うのです。今年毎月一回でもそんな場を持つことを皆で考えてみませんか。

常盤ひとり旅

第二十一回

石澤清五郎

郵便局の前を通り左折すると農協の倉庫が二棟あり、平成十五年(2003)の通常総会で売却処分を議決したが買手がなく、今年九月十二日の総会で取り壊し更地として処分する旨の議決となり、十一月一日頃から作業が始まり、またたく間に草一本もない綺麗な土地となった。販売方法は知らないが、売れなければニュータウン(西田町内会)と同様、雑草のジャングルになるのではと気がかりだ。この倉庫、本誌十一月号によると六十七年間、常盤米を育ててくれたと書かれてあった。また昭和二十九年(1954)五月五日付の青森県自治新報の「町村合併第一号の村を行く」という記事に「北常盤駅に下車して約二分位でポプラの並木が続き、うっそうとしたかげに政府特別指定倉庫と記された看板があり…」(写真参照)と書かれ、ポプラは常盤村のシンボルの一つでもあったのだろう。この倉庫と農協給油所の間を流れる堰を境に明徳中学校までを地区の人は梅田町と称している。梅田町の命名については、昭和二十九年(1954)十二月十五日、一戸建雄・石澤勇三・能登谷喜代衛・吉村柳治・八木澤興作・佐々木勇造・伊藤五郎・古館武三郎の各位が集い、応募された五十七の名称の中から能登谷祥一氏を選定したのだそうである。

平成八年(1996)一月十日発行の「梅田町の足跡」と題した梅田町四十年の記念誌によると、北常盤駅の開業に合わせて富木館村、女鹿澤村の人達に便をあたえる為に道路が新設されたとあり、口伝によると土は明徳中学校前交差点付近北側の浪岡町大字増館字若柳六六の一番地よりトロッコで運搬したという。役場の台帳では「一級村道常盤水木線、大字常盤字一西田十九の1から大字水木字水元九八の二と結ぶ」とある。昭和三十年(1955)前半には次々と商店が並び都市的形態を作り繁栄が続けられるものと思えたが、近隣地区に大型店舗が進出し、淋しさが加わって来た。さて今日は冬至だ。一年で一番目の昼の短い日だ。早く旅を終えようと急ぐ。夏至の日から右すそから岩木山へ登った太陽

が、一四五七mの巖鬼山を越え一六二五mの岩木山頂上へ到達。そして一五〇二mの鳥海山へと下山を始め、ころぶように秋分には白神山地の一角に、そして今日の冬至から廻れ右で三月二十日頃左すそから登山開始、四月三十日頃山頂を越え右すそへ下山、やれやれ夏至には昨年出発した地点に一年振りに帰り、翌日からまた登山を始めるのだ。太陽でさえ休む日もなく働いているのだぞ。人間も働く為にこの世に生まれたんだぞ…。

下の写真は令和6年現在の梅田町写真
左の写真は昭和29年当時のもの。



◆ 歯なしの話 153 ◆

佐藤 透

「かたやーこなた」
新聞を見てみると対比させられる記事が多く載っている。

相撲ですと…
若手の熱海富士が大関の豊昇龍を破った。また青森の星尊富士が3連勝したとか!
39歳の玉鷲の連続出場1631回(これは素晴らしい)。

一方こなたは元大関貴景勝が首の痛みで休場し、大関復帰の道は消滅ということで、最近調子を落としていた貴景勝の押し相撲に、非常に魅力を感じていた私としてはとても残念である。体調を万全にして再起して欲しいものであったが、引退を余儀なくされた。それにしても近年の大関は弱いなど思っていたら…。

政治の世界..

かたや日本の与党の自民党は議席を大幅に減らした。過半数に満たず野党であった国民民主党と組み石破茂氏が総理大臣になった。対抗する野党の党首の選挙も行われたが顔ぶれもイマイチだが、これからの政治はどうなるか。日本の総理は誰になっても余りあまり世の中に影響を与えることはないかも知れない。

一方米国も共和党(トランプ氏)と民主党(ハリス氏)の大統領選挙でトランプ氏が再び咲いた。これは予断を許さない五分五分の戦いと言われたが、蓋を開けると共和党の圧勝に終わった。任期は今年一月からで、世界の人びとは戦々恐々として注目していることと思う。中国、ロシア、北朝鮮などは誰になるかで大分自分たちに降りかかる火の粉が違ってくるのではないか?

このようにスポーツも政治の世界も「かたや」と「こなた」なのである。
外野で見ている分にはどうでも良いのだが、実際は身に振りかかるとなると考えものである。

俳句

王朝の恋もみくちやにかるた取り 五十嵐かつ
年迎ふふじのふるさと岩木嶺近し 鳴海 艸人
影はみなあおの濃淡庭は雪 海野比呂子
鮫鱈の届き年越す顔を待つ 木崎 道子
我が背丈越したる孫と初詣で 清水稼志男